

第65回 定期総会

令和8年5月29日(金)
総合ケアコミュニティ・セセらぎ
来賓 31名 出席者 28名
書面出席者(委任状) 70名



ご挨拶

渋谷区長 長谷部 健



本日は手をつなぐ親の会の総会開催、おめでとうございます。

堀口会長からもお話があったように、時代が変化
する中でたくさんの課題があります。区としても、で
きる限りしっかりと先を見据えて取り組んでいきたく
と思います。

グループホームや働く場所を通じた社会と交わる
機会は、就任以来、大きなテーマだと感じています。
施設の整備やシブヤフォントなど、色々な取り組みも
進めておりますが、さらにアクセルを踏んでいきたく
と思います。また、短時間雇用なども広げていくよう
な可能性があると思います。様々なご意見を聞かせ
ていただきながら、区政を進めていきたいと思いま
すので、ご協力のほどぜひよろしくお願いいたします。

今年は暑い夏になると言われています。今日もと
ても暑いですが、色々な行事やイベントもあると思
いますので、暑さには十分注意していただいて、くれ
ぐれもご自愛いただきたいと思えます。

手をつなぐ親の会の益々のご発展と、障がい者を
取り巻く環境が、前に向かって変わっていくことを一
緒に願いまして、またその一翼を担うという決意をお
伝えして、ご挨拶とさせていただきます。本日は誠に
おめでとうございます。

＊

ご挨拶

渋谷区手をつなぐ親の会

会長 堀口 智子

＊



当会は、誰もが住み慣れた地域で、安心して生活できること
を願い活動しています。引き続きご理解ご尽力をいただけます
ようお願いいたします。

今年度は「渋谷区障がい福祉推進計画2027～2029年
度」策定の大切な年です。思いや希望が反映され、必要な施
策が盛り込まれるようにしていく必要があります。アンケートや
意見交換会等で寄せられた声をまとめる中で、大きな4つの
課題が明確になってきています。 1. 学齢期から成人期への
移行における課題(成人期の夕方支援や余暇の場) 2. 介
護保険サービスへの移行における課題(障害福祉から介護
保険への移行や併用、ダブル介護) 3. 地域における多様な
住まい方の実現(当たり前前に地域で暮らしていける選択
肢) 4. 移動手段の確保(様々な方々との関わり) これらの
課題解決は、地域で安心して生活していくために必要不可欠
なものです。全力で取り組み、少しずつでも課題解決してい
くことをこの総会で改めて皆の心に刻みたいと思います。

また、障がいのある方一人ひとりの人権と意思を尊重し、主
体性をもちながら社会生活を送るための支援の在り方が様々
な視点で検討されています。皆が「お互い様」の意識を持ち、
できそうなことを試みることで、障がいのある方もない方も共
にお互いを思いやりながら暮らせる優しい地域へと育ち、課題
解決につながっていくものと思います。つながりを大切にして歩
んでいきましょう。

地域では、「まちづくり」が進められていますが、「誰もが」暮
らしやすい地域になっていくことを切望します。「障がいのある
〇〇さんがいる」が出発点ではなく、地域に住んでいる〇〇
さんがお困りの様子、どんな助けが必要なのか、何があれば
できるが増えるのか、そういったことを皆で考え、認め合
い、支え合える地域・しぶやになってほしいと願います。

ひとりではありません。たくさんの方々が見守ってくださっ
ていますし、必要な時には助けてくださいます。そのことを心に
留めていてください。私たちはこれからも手をつないで歩ん
でまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

＊

第一部

第65回 定期総会

第二部 懇談会

開会の辞
会長挨拶
来賓挨拶

- ・渋谷区長
- ・渋谷区議会議員
- ・渋谷区議会 区民福祉委員会委員長
- ・渋谷区教育委員会 教育長
- ・都立青山特別支援学校 校長
- ・渋谷区障害者団体連合会 会長
- ・東京都手をつなぐ親の会 副会長

来賓紹介

令和7年度活動報告

- ・広報部
- ・教育部
- ・成人部
- ・ボランティア部
- ・啓発部

令和7年度決算 / 会計監査報告

令和8年度活動計画

令和8年度予算

役員改選

決議



障害福祉サービスから介護保険への移行と課題

2月19日

10:00~11:45 (受付開始 9:45~)

基調講演 「高齢期を迎える障がい者 (65歳の壁)」

上田 昌信 氏

制度比較

事例紹介

お申込み

お問合せ

渋谷区心身障害者福祉支援センター

渋谷区総合ケアコミュニティ・せせらぎ

2階 大田地区 AB (内線1-40-10)

TEL & FAX : 03-3375-0333

mail : oyanoakaishibu@gmail.com

渋谷区手をつなぐ親の会 (担当 / 道井)

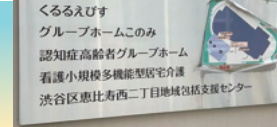
【福祉講座】障害福祉サービスから介護保険への意向と課題

2月19日 (木) 総合ケアコミュニティ・せせらぎ



基調講演では、はあとびあ原宿地域包括支援センター長の上田昌信様より、「高齢期を迎える障がい者 (65歳の壁)」についてお話を伺いました。障害福祉サービスと介護保険制度の仕組みや、65歳を迎えた際の制度移行についてわかりやすくご説明いただき、理解が深まりました。続いて、渋谷区社会福祉協議会の瀬古庸子様から、両制度の比較についてお話があり、制度の違いを知ることができました。最後に障がい者基幹相談支援センターの金澤見子様から、実際の事例を通して移行の流れや現場の課題を具体的に伺い、より身近に感じることができました。

利用者負担やサービス内容、支援者の変更など、移行時に生じる不安や課題について学ぶとともに、「その人らしく暮らし続けるために何が必要か」を本人や家族、支援者が早めに話し合い準備する大切さを改めて感じました。65歳はまだ先と思っていましたが、将来を見据えて備えていきたいと思えます。(道井 美樹)



施設見学会

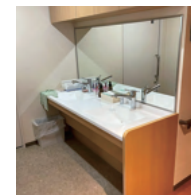
渋谷区恵比寿西二丁目複合施設

①6月 8日(月) ※高齢者施設は10日(水)

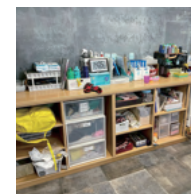
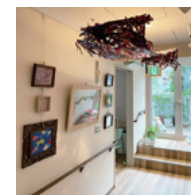
②6月19日(金)



グループホーム このみ



渋谷区 くるるえびす



意見交換会

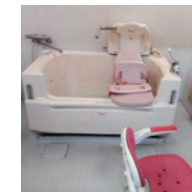
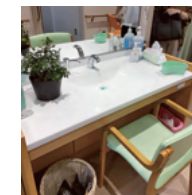
渋谷区障がい福祉推進計画 (2027~2029年度) 策定に向けた意見交換

今回、渋谷区恵比寿西二丁目複合施設内の4事業所の見学に行ってきました。グループホームこのみでは利用者それぞれの生活リズムに合わせて食事の提供が行われ、お風呂はお互い譲り合い順番に入り、皆さん就寝まで好きなことをしてゆったりと過ごされています(現在7名満床)。渋谷区くるるえびすの廊下は利用者皆さんの作品が飾られたギャラリーとなっていて、楽しく見学させていただきました。ひまわりガーデンでの作業、運動の時間、作品作り、水耕栽培の活動などグループに分かれて活動されています。施設内には食堂と厨房があり調理された食事が提供され、ひとりクールダウンできる休憩室が用意されていました(現在21名所属)。

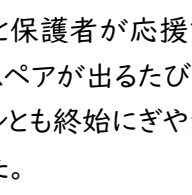
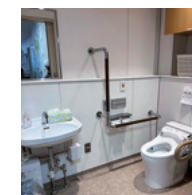
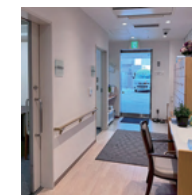
看護小規模多機能型居宅介護事業所は利用者に応じた通い、宿泊、訪問看護・介護のプランを組み合わせ、利用時間の幅も選択できる自由度の高い支援をしています。宿泊は5床(内1床は緊急)あり、1回最長1週間利用できるようです。認知症グループホームは9名×2ユニットあり、ある程度身の回りのことが自立できている方の施設です。みなさんゆったりとした空間で過ごされていました。(村上 春奈)



看護小規模多機能型居宅介護事業所



認知症 グループホーム



中学・高等部進学おめでとう

先生、友達に恵まれて幸せな時間を過ごした中学部でした。声をかけられると、喜んで隣りに座り、安心できる仲間ができたことに嬉しく思います。そして母自身も息子を通してこれからも仲良くしていきたい友達ができたことに感謝です。（伊藤 和江）



港特別支援学校高等部 伊藤 柚太朗さん

青山特別支援学校の中等部を3月に卒業しました。個性豊かな先生方が優しく寄り添って成長を見守ってくださり、卒業したくないほど幸せな時間でした。高校生活も頑張ります。（金澤 伸江）



港特別支援学校高等部 金澤 遼英さん

青山特別支援学校中学部では素晴らしい先生や友達に恵まれ、毎日楽しく過ごすことができました。学校の体育行事が縮小されてからは、毎年「連合運動会」に参加することを楽しみにしています。昨年、伊藤君と一緒に選手宣誓を務めたことは最高の思い出です。（松本 千晶）



港特別支援学校高等部 松本 正毅さん

支援学校での6年間は、私たち親子にとって多くの学びと成長の時間でした。先生方や友達に支えられながら、一步步に進むことができました。出会った皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、これからも自分らしく歩いてほしいと思います。ありがとうございました。（吉岡 文美）



港特別支援学校高等部 吉岡 滯さん

ニコの小学校生活は、インクルーシブ教育への挑戦でした。地域の小学校と特別支援学校の両方で学び、多くの支えの中で成長し、たくさんの仲間や友人に恵まれました。この6年間に心から感謝しています。（龍円 愛梨）



青山特別支援学校中学部 龍円ニコラス日向昊さん

新 社会人デビューおめでとう

12年間通った中野特別支援学校を卒業しました。様々な困難もありましたが、多くの方々に支えられながら息子の成長を見守ることができました。この出会いとご縁に感謝しています。これからも親子で一步步前に進んでいきたいと思います。（櫻岡 沙矢香）



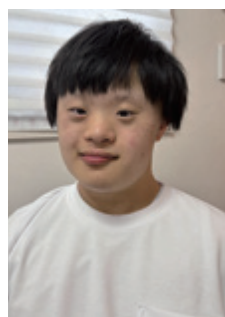
中野特別支援学校→むつみ工房 櫻岡 翔太さん

港特別支援学校を卒業し4月から作業所に通所しています。学校の様々なカリキュラムや手厚いご指導に改めて感謝の日々。新しい環境に慣れるまで2か月かかりましたが今は元気に通所しています。体力をつけ一步步進みます！（椎名 紀子）



港特別支援学校→広尾ジョイワーク 椎名 佑樹さん

中野特別支援学校で多くの方に支えられ、とても成長を感じられた12年間を送りました。4月から作業所にお世話になり、毎日楽しく通所しています。新しい環境でも経験を重ね、成長することを楽しみにしています。（南波 亜紀子）



中野特別支援学校→あすなろ作業所 南波 湊音さん

今年の3月に港特別支援学校を卒業し、4月からワークセンターひかわで働いています。長い学生生活は、良い先生やクラスメイトに恵まれ、楽しく過ごすことができました。環境が変わった中、毎日無理なく通所できることが今の目標です。（藤崎 朋美）



港特別支援学校→ワークセンターひかわ 藤崎 百樹さん



熱中症に気をつけて！



編集後記

会報誌『プリズム』は今号で250号を迎えました！1968年に「渋谷区育成会」として創刊されてから58年。皆さまの温かい支えにより、ここまで歩みを続けてくることができました。これからも『プリズム』をどうぞお楽しみに！

